

■ 成果指標

指標	単位	現状値		実績値				目標値
				R4	R5	R6	R7	
1	市や団体等が主催するスポーツ教室・大会の参加者数	人	11,930	R2	21,242	22,578		22,000
2	スポーツ関連団体の構成者数	人	4,423	R2	4,345	4,336		4,800
3	市内の主な運動施設の利用率	%	70.3	R2	74.3	74.9		76.5
4								
5								
6								
7								
8								

■ 市民アンケート調査

項目	現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察
1	重要度 0.87 満足度 ▲0.20	0.97 0.08		「スポーツ施設が充実している」の設問については、全体で見ると重要度は低いが、前回比+0.10の増加となっている。一方、満足度については、+0.28の増加であり、かなり高い満足度となっており、施策推進の一定の効果があると考えられる。
2	重要度 満足度			
3	重要度 満足度			
4	重要度 満足度			

■ 施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① スポーツ活動の推進	市主催事業をコロナ禍前の水準で実施するとともに、総合型地域スポーツクラブ等の団体のイベントへの支援を行った。
② スポーツ団体の育成と競技力の向上	市スポーツ協会を通じて各種競技団体への支援を行うとともに、競技力の向上を図るため、激励金制度等により全国大会などの高レベルの競技大会出場への支援を行った。
③ スポーツ文化の浸透	三重ホンダヒートと連携した「亀山市民応援DAY」の実施によりスポーツを観る機会づくりや、HPなどにより市主催事業等の情報を発信し運動機会づくりに取り組んだ。
④ スポーツの拠点づくり	指定管理者と連携して運動施設の利用促進を図りつつ、学校体育施設の利用促進を図った。また、東野公園体育館の防水改修などにより施設改修を図った。
⑤	
⑥	
⑦	

総合評価

<p>スポーツ活動の推進については、スポーツ推進委員と連携した壮年ソフトボール大会やニュースポーツ大会などの主催イベントや、各種団体によるイベントも徐々に再開が進み、こうしたイベント等を通じて市民のスポーツ活動の促進を図ることができた。また新たな取り組みとしてアーバンスポーツの普及及び環境づくりについて、スケードボード場の確保に向けて試験開放を実施し、ニーズ把握や実施に向けた検討を行った。スポーツ団体の育成と競技力の向上については、全国大会等の上位大会への出場者への激励金や旅費補助金などが想定以上に増加しており、スポーツ協会をはじめとした各競技団体等の活動により競技力の向上につながっていると考えられる。スポーツ文化の浸透については、運動施設の指定管理者や関係団体によるスポーツイベントや、スマホを活用したウォーキングイベントへの参加促進を図ることで、運動やスポーツを体験する機会づくりを進めた。また、三重ホンダヒートと連携した市民応援DAYを新たに実施し、ハイレベルな競技に触れる機会づくりを行い、スポーツを見る機会にもつなげることができた。スポーツの拠点づくりについては、B&G財団の助成金を活用した関B&G海洋センタープールの設備改修、東野公園体育館の空調整備に向けた設計業務や、西野公園テニスコートの全面改修をはじめとした必要な施設改修を進めることで、スポーツ環境の充実を図ることができた。一方で、施設の老朽化も進んでおり、利便性の低下にならないよう、計画的な施設の改修や修繕の対応が必要である。</p>	<p>B</p> <p>まずまず進んだ</p>
---	--------------------------------

今後の展開方針

各種団体やスポーツ推進委員と連携し、イベントの提供機会の確保・充実を図るとともに、アプリdeウェルネス推進事業と連携し、健康につながる運動機会づくりに取り組む。また、スケードボード場の試験開放を踏まえた環境整備をはじめ、東野公園体育館の空調整備や関B&G海洋センタープールの更衣室等の改修により、施設整備を進める。教育委員会や関係団体と連携した中学校部活動の地域移行に向けた検討を行うとともに、新たなジュニアスポーツ支援策の検討を進め、若い世代のスポーツ活動の活性化を図る。指定管理者や三重ホンダヒートなどの民間機関との連携を図りながら、スポーツを見たり楽しんだりできる機会づくりに取り組む。運動施設については、利用者の声や指定管理者との協議を行いながら、引き続き計画的な修繕等により利便性の向上に取り組む。